

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	学習会を何度も行いスタッフに理解してもらっているが、事務所が玄関にないために仕方なく施錠をしている状態である。玄関施錠についても拘束対応であることを常に認識しておく必要がある。	身体拘束における身体的・精神的弊害等の理解を深め、「拘束・虐待のない事業所を目指します」という事業所理念をスタッフ全員が徹底する。	高齢者虐待・身体拘束・権利擁護について学習会を年3回実施する。 ①身体的・精神的弊害等の理解を深める。 ②グループホーム内で自由な暮らしを支援するためのケアについて話し合い、工夫していく。(スタッフミーティング時等) ③スタッフ間で共通認識を高めていく。	12ヶ月
2	23	利用者様とのコミュニケーションを大切に、会話の中から情報を探り、家族様からも情報を得て、それぞれの利用者様の希望・意向を把握し、個別対応しているが、まだまだ不十分な状況である。利用者様の抱えている思いの把握を十分に行い、個別支援していく必要がある。	利用者様や家族様としっかりと関わりを持ち、ご本人様の視点や情報を探り、思いをしっかりと把握し、個別ケアに取り組んで行く。	1、利用者様や家族様とのコミュニケーションを十分にとり、センター方式を活用し、思いや意向の把握に努める。 2、個別ケアをスタッフ全員が共有し、統一したケアを実施していく。	12ヶ月
3	35	避難訓練を年2回実施し、消火器やAEDの使用方法を実際に行い訓練しているが、災害時スタッフだけで利用者様の安全確保を行うには不安がある。近隣地域の理解や協力が必要である。	運営推進会議に地域住民の代表者様も参加して頂き、交流を深めるとともに、災害時の理解や協力体制構築に取り組む。	1、自治会行事を把握し、参加していく 2、地域の代表者様へ、運営推進会議への出席をお願いし、理解や協力を得られるように話をしていく。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。